

事業名	まちづくり推進費	財務コード (事業)	143701
-----	----------	---------------	--------

細事業名	まちづくり啓発事業費
------	------------

担当部課室	県土整備 部 都市計画 課 計画 担当 (内線)	7456
-------	--------------------------	------

事業の概要

実施期間	始期 S61 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
事業の目的	誰(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	県民 市町村職員	・まちづくりに対する意識が醸成されている。 ・まちづくりに対する資質が向上している。 ・まちづくりに積極的に取組む人材が育っている。	県民と行政が一体となった個性豊かなまちづくりの推進
事業の内容 主に 24年度	まちづくりセミナーの開催 アメニティ豊かなまちなみ環境創造に向け、行政・地域住民が共に考え、研修する機会となるような講習会、パネルディスカッション等を年1回開催する。 平成24年度：平成25年2月4日開催 山梨県立図書館 講演 名城大学 教授 海道 清信 「コンパクトシティのつくり方」		
	まちづくり功労者表彰 住環境や都市環境の改善、地域の特性をいかした、潤いと活力のある美しいまちづくりの推進に顕著な功績のあった市町村、民間の団体、個人等を毎年2名(団体)程度表彰する。 平成24年度：1市(中央市)		
	まちづくりに関する情報の提供 県HPを通じて、セミナーの開催状況やまちづくり功労者について県民に情報を提供している。		
根拠法令等			

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	23年度	24年度		25年度	26年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	ふるさとまちなみデザインセミナー参加者数	134名	150名	124名	150名	150名	活動指標 目標設定の考え方 セミナーは参加定員の150名とした。 データの出典等 予算見積書(過去実績)
	活動指標達成率(実績値/目標値)	82.7 %					
成果指標	アンケートで「参考になる」と回答した割合	80%	80%	未実施	80%	80%	成果指標 目標設定の考え方 セミナーが今後のまちづくりに役立つとの回答がH23年度80%であるため、80%を設定した。(H24は未実施。)表彰は過去の実績より2団体(2名)とした。 データの出典等 セミナー終了後のアンケート結果表彰は過去の実績
	成果指標達成率(実績値/目標値)	%					
決算額、予算額	405	135		403	405	成果指標によらない成果 セミナーを毎年継続して開催することにより、県民及び市町村職員のみまちづくり意識の維持、向上が図られる。同様に毎年まちづくり功労者の表彰を継続的に実施し、まちづくりに対する取り組みや事例を提供することにより、まちづくり推進に対する県民の意識が高まる。	
(千円) うち一財額	280	135		403	405		
所要時間(直接分)	120 時間	120 時間		120 時間	120 時間		
所要時間(間接分)	0 時間	0 時間		0 時間	0 時間		
所要時間計	120 時間	120 時間		120 時間	120 時間		
人件費コト 単位:千円 (@2,050円×所要時間)	246	246		246	246		

これまでの事業の見直し・改善状況

パンフレット印刷による募集活動を廃止し、県ホームページを活用して募集を図った。

## 活動量と成果の判断(平成24年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)

数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方	数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
H24年度活動指標達成率			
b	b		

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)

数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方	必ず記入すること
H24年度成果指標達成率			
	b		平成23年度に実施したアンケート調査では、このセミナーが今後のまちづくりの参考になると答えた参加者が80%に上っている。まちづくりは地域の住民と地元市町村が協働して行っていくものであり、多くの住民や市町村職員が毎年参加することが出来、まちづくり意識の高揚を図っている当セミナーによる成果は大変大きいと判断できる。 まちづくり功労者表彰については、被表彰者による各種勉強会や講習会等で事例発表等を行うことにより、まちづくり意識の向上や啓蒙活動に寄与しており、意図した成果はあげている。

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

## 見直しの必要性(平成26年度に向けた改善等の考え方)

### 一次評価(担当部評価結果)

見直しの必要性	説明	以外の判断項目
有	これからの都市計画は、人口減少などの社会情勢の変化に対応して、拡散型の都市構造から都市機能集約型の都市構造への転換が必要である。セミナーのテーマも、この都市計画の新たな課題について取り上げ、より関心の高いものにして、今後のまちづくりに一層有効なものになるように工夫していく。また、より多くの方に参加して頂くため、セミナーの内容、開催時期等を考慮するとともに、PRを積極的に実施する。	b・c・d

・「以外の判断項目」の欄  
 必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) 官or民(f.民間等実施) 官の役割分担(g.市町村等へ移管) 効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

### 二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価

見直しの必要性	説明	以外の判断項目
/	/	/

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

## 見直しの方向(平成26年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
実施方法等の変更	セミナーのテーマを、より県民の関心の高いものにして、今後のまちづくりに一層有効なものになるように工夫していく。また、より多くの方に参加して頂くため、開催時期等を考慮するとともに、リーフレットの配布先を学校等へ広げるなどPRを積極的に実施する。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。